

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>管理者・職員は地域密着型サービスの役割を理解している。</p> <p>地域密着型サービスの役割を反映したものを独自の理念とし作成し周知徹底している。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>管理者は理念を全職員に周知し、日々のサービス提供場面に反映させている。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>事業所内に見やすく分かりやすいように理念を掲示している。利ねを広報紙等に明示し、利用時には説明文書提供や利用者、ご家族様に説明している。地域に対しては運営推進会議の開催での説明やホーム便りを配布する等の取り組みを行っている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。</p>	<p>地域で行っている行事へ参加し、交流を図っている。</p> <p>研修やボランティアを受け入れ地域の方々にも知ってもらおうようにしている。</p> <p>本年度より町内に加入しているので、地域の情報収集・交流等を行っている。</p> <p>地域の公民館活動にスタッフ利用者様参加している。</p>	<p>町内会活動を活発にして、万が一、災害が発生した際は、地域の方々に協力していただけるように連携を深めていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員に周知するように申し送りを行っている 評価のねらいや活用方法等申し送り理解している 職員、運営者や管理者と参加している 職員へ報告を行い、会議などより良いケアサービスの提供につなげるようにしている	
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日1回実施。 意見を聞き、今後の取り組みにつながるようしている。報告・説明し、改善や継続に努めている。公表し改善や継続に努めている。 意見交換を行い、サービスの質の向上・確保につなげている。	
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	パンフレット広報紙を作成配布している。 自己評価や外部評価の結果を提出し報告している。 市町村担当者と常に情報提供を行い入退居などの変更がある際はすぐに知らせるようにしている。	
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護の勉強会を持ち全スタッフへ研修を受けてもらった（実際に使っている入居者様もいる）。	
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修や内部研修を通して部署内でも触れ知識を得て注意払っている。 報告・連絡・相談を実施することで未然に防ぐように努めている。 又、マニュアルを活用し勉強会を実施し、周知徹底している。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている		
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている		
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている		
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフが代わった際には利用者様へ十分な説明や、場合によってはユーモアを取り入れた声掛けを行っている。 申し送りなどを行い、引継ぎを行っている。 利用者様には十分に説明を行っている。		
5. 人材の育成と支援			
17 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフのレベルに応じて研修計画を立てている。年間の研修計画は作成していない。施設内・外の研修を個々のレベルに合わせて行っている。報告書を作成し他スタッフへも伝達している。伝達講習を行い全スタッフへ周知徹底している。勤務へ配慮し研修計画えお立てている。		
18 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他機関での勉強会に参加させて頂いており、外部施設研修を実施し、スタッフサービスの質の向上に努めている。		
19 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフの悩みはいつでも聞ける体制にある。定期的な面談をもつようにしている（年2回）。男女それぞれの休憩室もあり、夜間はスタッフ室の奥に休める場所がある。		
20 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	現場の状況やスタッフの日々の努力、勤務状況を把握している。年に2度健康診断を実施している。 労働基準に沿ってスタッフの労働条件を整えている。就業規則を守っている。各スタッフに自己目標をもって頂き資格取得など実績を積むことにより自信をもって働いて頂いている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	常時、又定期的にカンファレンスを行い話を聞く機会を作っている。 ご家族様面会時や電話連絡等の際に毎日把握できるように努めている。 言葉遣いや話し方などに注意し対応している。	
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様・ご家族様の話を傾聴し他機関・職種との連携をとりつつニーズを見極めて応えられるよう努めている、対応できることは柔軟に実行している。 すぐに対応できないことについては対応できるように対策を検討している。	
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	面会時にご家族様より情報を提供して頂いたり、常時本人様からの要望にも傾聴し配慮している。 定期的にカンファレンスを行いケアプランを改善していきご本人様がなじめるように努めている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	グループホーム理念を基本に敬い学ぶ心を忘れず、精神面においても第2の家族のように共に笑い、ご本人様の時技を伝授して頂き、日々スタッフも学ぶ事が多い。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者様に対して協力して頂ける部分は協力して頂いている。面会時や電話時もその都度、状況報告や要望を聞くようにしている。 イベント時は参加を声掛けて利用者様・ご家族様・スタッフ共に共感できるように配慮している。		
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	複雑な内情のご家族様方もいらっしゃるが情報を把握し個々の関係に配慮し対応している。 日々の利用者様の様子を面会時や電話・手紙等で伝えたりご家族様がホームに来やすいように環境を整えている。		
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様方や友人様へ面会の働きかけや季節ごとの帰省検討、電話や手紙でのコミュニケーションや懐かしい場所へのドライブを実施している。		
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個別や全体のレクリエーション等を行いコミュニケーションを図っている。 常に温かく見守り声掛け一人一人の利用者へ1日1つでもプラスαのケアを行うようにしている。		
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	別の施設に移られたご利用者様への近くを通れば立ち寄りするようにして、その後の状況を見守っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常時利用者様との会話の中からも希望を聞き把握に努めている。 一人一人が行いたいことなど自由に暮らして頂いている。ご家族様や関係者の方々にも情報収集を行い意向等の把握に努めている。	
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	多方面からの情報把握に努めケアに活かせるようにしている。サービスを受けていた方は特にケアマネとの連携を大切にしている。 DSとの連携を図り、地域とのつながりを大切にしている。	
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者様の生活リズムを尊重したケアを行っている。 細やかな場面も見逃さぬよう日々把握に努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月第1, 第4月曜日にカンファレンスを行いケアプランに反映している。 ご家族様の来所時も説明し、相談にのって頂きプランに生かし、ご家族様から生活歴をお聞きし特技の発掘を行い、ケアに活用している。	
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の実施期間を明示し、期間終了後は見直しを行っている。 状況変化や利用者様・ご家族様の希望の変化時は随時見直しを行っている。 見直しの際には利用者様・ご家族様の意見や気付きを収集を再アセスメントを行っている。 ご本人様やご家族様の希望に変化がないか常に声掛けを行っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の利用者様の申し送りノートを作成し、日頃の些細な気づきでも記入し情報を共有しケアプランの見直しやケアの向上に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設されているデイサービスとも連携をとりながら柔軟な支援を実施している。 特に特浴やリフト浴など行事の際応援などしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ご本人様の意向や招待されたりして、町内会の行事へ参加したりもしている。又、町内の保育園に來訪して頂き交流している、他機関とも随時連絡を取っている。		
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	随時、情報提供を行い支援している。		
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	個々のご利用者様のニーズに答えて対応を随時行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
41	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
42	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
43	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
44	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
45	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>十分な話し合い、情報交換を行いご家族様、ご本人様にも説明し理解してもらってから行うようにしている。</p> <p>移行先へは、情報提供のためのサマリーを作成している。</p>	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
47	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者様の生活歴、価値観などをスタッフ全員で共有し、傾聴を受容に努め不快を与えることのないよう節度ある対応をしている。</p>	
48	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>ご利用者様へ一動作ごとに声掛けを行い、ご本人様の意志を尊重するように心がけている。</p> <p>十分に意志表示できない場合、文章に書いたり何度も訪室したりして、希望の把握に努めている。</p>	
49	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>スタッフ全員が常に傾聴を受容の態度で接すうように指導している。</p> <p>利用者様のペースに合わせて対応している。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
50	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>着替え時、服装などご本人様のご要望を第一にお聞きしている。</p> <p>又、希望があればご本人様の望む美容院へ行って頂いている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
52	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
53	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
54	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
55	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	週3回の買い物訓練時や行事の際、受診の帰りなど自己管理している人は、自己の意思決定で買い、認知度の高い方にも買う事の楽しみを味わって頂いている。		
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望に添って戸外の散歩やドライブ又は、希望が無くても戸外でのお茶の時間やベンチに座り、会話を楽しんで頂いている。		
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	買い物訓練も含め希望により検討し実施しているご家族様の方より要望もあり時折、ご本人様と外出の機会もある		
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時や随時電話や手紙等の支援も行っている。電話や手紙等プライバシーに配慮している。		
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	居室にソファ、テレビもあり面家時など自由にくつろいで頂いている。常に明るい挨拶で出迎えるよう、スタッフ全員が心掛け、話しやすい雰囲気づくりをしている。		
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフ全員が認識している、身体拘束を行わず日々のケアを行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間21時～朝7時までは施錠するが、それ以外には行っていない。入居者様の外出傾向を察知した時にはスタッフが付き添いを行っている。近隣からの協力が得られるような働きかけは行っていないが、協力が得られるようにしていきたい。		
64 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入浴時はパーテーションを置きプライバシーに配慮し、一人ずつの入浴を行っている。個室のため、定期的に又必要に応じて随時見守り巡視を行い安全確保に努めている。		
65 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	過度な物品の排除はせず、入れ物を替えるなど工夫し、利用者様の可能性を大事にしつつ、見守りを行い危険を防いでいる。		
66 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急時の対応マニュアルもあり、全員が理解し対応できるよう教育されているヒヤリハット報告書、事故報告書の様式があり、発生時にはすみやかに作成し、再発防止に向け話し合いを行っている。又、スタッフ全員で周知している、報告書はスタッフが常時確認できるように整理保管されている。		
67 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応マニュアルが作成されている、また消防署の協力にての心配蘇生法等の訓練や定期的に勉強会を開き緊急時の対応ができるようにしている（救命講習全スタッフ受講済み）		
68 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練を実施し、スタッフはもちろんの事ご利用者様へ意識づけを図っている。又、運営運営推進会議の席上でも協力要請している。災害発生時に備えて物品等な用意されていない。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	事故報告書を記載し、スタッフで話し合いをもち対策と改善に努めている。ご家族様来所時や外出・外泊の際は声掛け説明を行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタル測定の記録をしており、状態の変化など常に観察し記録している。特変時は速やかに対応できるよう、訪看・主治医と連携を図っている。 一人ひとりの持病やアレルギーの有無、留意事項も把握している。		
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を読み確認し、ファイルしている内服変更があった際は、申し送りでスタッフ間で共有し症状の変化があれば随時Drへ報告し指示を仰いでいる。 飲み忘れや誤薬のないよう声掛け等行っている。		
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事は野菜を多く摂り入れ、日中は散歩や体操等で体を動かすよう促している。水チェックも行い、脱水防止に努めている。 下剤や浣腸等使用の際には、使用量や又は、緑茶でのうがいや毎食前、口腔嚥下体操を行っている。		
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの必要を理解し、自力のできるよ所は行って頂き、不十分な所は声掛けと介助をしている。又は、緑茶でのうがいや毎食前、口腔嚥下体操を行っている。		
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立を参考に、個人の嗜好に合わせた季節感のあるメニューを提供している。又、治療食対象の方にはDr指示のもと食事提供を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	スタッフは併設施設と連携して感染症に関する教育を受けている。外出後食事前の手洗いうがいを実施している。インフルエンザに関しては、予防接種を受けられるよう支援している。（ご利用者様、スタッフ）マニュアルも作成されている。		
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	間に血の消毒、清掃実施。食材の鮮度の確認（消費期限など）スタッフは調理時、マスク・グローブを使用して衛生対策を実施している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ご家族様の方々に親しんでいただき、明るいおもてなしができるよう、季節感のある温かい雰囲気作りや、玄関まわりの装飾を心掛けている。		
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間では、ご利用者様の好きな音楽（民謡・歌謡）をBGMとしてかけたり、折々の花を飾ったりしている。壁にも手作りの装飾で季節感のあるものを飾っている。		
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	くつろげるソファを配置し、膝掛けや枕など準備し気の合ったご利用者様含め、皆様が自由に思い思いに過ごされている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	装飾品など、ご本人様の好みで自由に行っている。又、照明も安心できる明るさを選び安心して 過ごして頂いている。家具の配置など、ご本人様 の動きやすいようの、ご家族様も交えて工夫して いる。使い慣れた日用品を使えわれている方もい らっしゃる。		
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	寒暖計を設置して、夏冬温度・湿度を一定に保っ ている。又、随時換気を行い空気の入替えを実 施している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	各スペースに手すりや安全保護の為のカバーが設 置されている。危険がないか常に点検している。 必要に応じて車椅子等用事している。		
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	各場所の確認ができるよう、わかりやすく表示し ている。トイレや浴室など場所の認知が できない方でも表示を見て自力で行っている方もいる。		
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動できる ように活かしている	花壇や植木があり、水やりや草取りを日課として 頂いている。又、池に鯉がいてエサをやって余暇 を楽しんでいる。春には野菜など苗を植え、野菜 づくりを楽しんで。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
95	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)